

# みらい



～探検！わたしたちのふるさと～



～綱引き大会(昔遊び)～



～集まれ！おうめっ子～



～学生ボランティアとともに～

青梅市青少年委員になって八年が過ぎようとしています。その間、いつも活動の根底となっていたのは、「自分たち大人が楽しければ子どもも楽しい」という先輩の言葉でした。

新しい事業を起す時などにまず考えるのは、何をしたら楽しいか、どんなふうにしたら楽しめるかという事です。例えば「まず釣りにチャレンジ！」では釣った魚をさばき、竹串に刺して焼いて食べる。これだけでは芸がないので竹串も作ってしまおう、という具合です。

青少年委員と子どもたちが共に楽しみながら活動していくなかで、嬉しいことがありました。体験を積んだ子どもたちが、今度はボランティアとして参加してくれるようになったのです。自らの経験を次の子どもたちに伝えることによって、さらに成長してゆく姿を目のあたりにして思うことは、先輩から教えていただいた言葉が目に見える形となった、そして私たち委員も成長させてもらっているということです。

青梅市青少年委員は、各学区より選出された十六名で構成されています。微力ではありますが、皆で力を合わせ、できる限り子どもたちと接し、楽しく交流できることを願っています。

青梅市青少年委員協議会  
新町小学校区担当 宮川典子

## 青少年委員ってどんなことをしているの？

青少年委員はこんな活動をしています。  
楽しいイベントばかりですのでぜひ参加してくださいね！

### ～年間の活動報告(平成19年度)～

- ・ます釣りにチャレンジ！(自主事業)
- ・風の子まつり(竹細工を担当)
- ・各市民センターのジュニアキャンプ指導
- ・集まれ！おうめっ子の指導
- ・成人式への協力
- ・親子ふれあい綱引き大会(昔遊びコーナーを担当)



その他、子供会活動、PTA活動、各市民センターのお手伝いをしています。  
お手伝いが必要な場合は、お気軽に御相談ください。

### 青梅市青少年委員名簿

氏名	担当小学校・市民センター	氏名	担当小学校・市民センター
永濱靖朗	一小・青梅市民センター	島田睦巳	河辺小・河辺市民センター
川田吉見	二小・長淵市民センター	宮川典子	新町小・新町市民センター
清水増実	三小・大門市民センター	松島三枝子	霞台小・大門・新町市民センター
榎島章示	四小・東青梅市民センター	篠辺浩美	友田小・長淵市民センター
天野俊寿	五小・梅郷市民センター	若林正樹	今井小・今井市民センター
島田広之	六小・沢井市民センター	森ノ木尚美	若草小・河辺市民センター
木村淳子	七小・小曾木市民センター	永澤正弘	藤橋小・今井市民センター
清水敬子	成木小・成木市民センター	吉野孝子	吹上小・東青梅市民センター

編集 青梅市青少年委員協議会  
発行 青梅市教育委員会社会教育課  
青梅市東青梅1-177-1  
0428-22-1111



平成18年度後期の活動事例の紹介です。  
「みらい」への御意見・御要望をお待ちしております。  
〒198-8701 青梅市東青梅1-177-1  
青梅市教育委員会 社会教育課  
「青少年委員担当」まで

永山丘陵一帯で草花や虫などの観察、文化財の見学などをしながら、四十一名の子どもたちと一緒に青梅・ふるさと探検をしました。

永山丘陵のハイキングでは中西先生から草花の名前や習性・文化財の歴史についてお話を聞き、自然のすばらしさやふるさとの大切さを学びました。ゴールの風の子・太陽の子広場では渋川先生から虫のお話を聞き、身近な昆虫について再発見することができました。

原っぱでお弁当を食べた後は、永山ふれあいセンターで地元東栄会の皆さんから「かやの葉でバッタ作り」の指導を受け、植物のすばらしさやクラフト製作の楽しさを学びました。

この探検を通じ子どもたちに自然やふるさとのことを伝えることができたと思います。

最後に、御協力いただいた皆様方に感謝いたします。



### 多摩地区青少年委員会連絡協議会

#### 第四ブロック研修会

十月十四日(土)

あきる野市で多摩第四ブロックの研修会が行われました。会場は東京都横沢入里山地域で、伊奈石の石切場跡の見学と講師の説明を受けながら湿地の生物観察を行いました。

秋晴れの中、石切場までのかなり険しい山登りをし、湿地では童心にかえりヤゴなど各種の水生昆虫やホトケドジョウを捕まえ観察しました。空気も澄み、日が落ちかかるころ、地元の子どもたちが遊んでいる光景は心が休まる想いでした。



横沢入はパブル崩壊により住宅地開発をまぬがれ、東京都により「里山保全地域」に指定されました。その自然環境を守り、人々の自然とのふれあいの場として活用を図るためには、伐採や湿地化など、人の手を入れて管理しなければならぬと聞きました。手つかずのままではいけないのかな…と少し複雑な気持ちで研修を終えました。



# 活動の紹介



「竹の巻」「音の巻」に続く、今回の自然満喫のテーマは「丸太の巻」です。

風の子・太陽の子広場で行われた今回の企画は、木の切り倒し見学、丸太切り競争、自分でパンを焼いて食べる、丸太を使った工作、と盛りだくさんでした。大きな木がチェーンソーで切り倒される瞬間、皆が初めて見る光景に大歓声が上がりました。そしてグルーブに別れ、その切り倒された丸太を一番早く切れるか競争しました。汗をかきみんな一生懸命頑張りました。その後は待ちに待った昼食、各自でビザ生地にチーズやレーズン、チョコレートなどをトッピングし、木に巻きつけて炭で焼いて食べました。その美味しかったこと！皆の笑顔は最高でした。午後の木を使った工作では、実用的な物や動物、怪物も出現し、皆が工夫をこらしても楽しい作品に仕上がりました。毎年好評の「集まれ！おうめっ子」、来年も期待してくださいね。



朝からのどしゃぶりの雨の中、青梅市総合体育館が二千人を超える参加者や応援の方々と賑わいました。開会式では、日ごろ、さまざまなボランティア活動をしている団体に対し、青梅市優良青少年団体の表彰が行われました。綱引き大会は、綱を引く子どもたちのかわいい声や中学生、大人たちのたくましい声、そして応援するお父さんやお母さんの声に包まれ、興奮のうちに終了しました。私たち青少年委員は「飛び出すコップ」「わなげ」「ペーゴマ」「コマ」「けんだま」の昔遊びコーナーを担当しました。たくさんの子どもたちがきてくれて、とても賑わいました。日ごろなじみの薄い昔ながらの遊び道具を手に取り、興味津々の様子でした。

#### 親子ふれあい綱引き大会

二月十八日(日)



立教大学大学院遠藤愛先生を講師に迎え、今年度の委員内研修を実施しました。テーマは「子どもの主体性を引き出すには？」児童理解と環境づくりに焦点をあてて」とし、前半は講演、後半は講師とのフリーディスカッションの二部構成で実施しました。講師は子どもに対する接し方をさまざまな現場での実践を通して研究し、小中学校の先生への指導や教育研修を行っている研究者でしたので、子どもとの接し方などで委員が疑問に思っていたことが確認でき、とても有意義な研修会となりました。

#### 青少年委員研修会

十一月五日



立教大学大学院遠藤愛先生を講師に迎え、今年度の委員内研修を実施しました。テーマは「子ども